



事業計画名	周南公立大学大学院情報科学研究科応用情報科学専攻(専門職)新設
-------	---------------------------------

基本情報	
改組内容	研究科等の設置・増員
所在地	山口県周南市
増員する情報系組織名(修士)	情報科学研究科応用情報科学専攻(専門職)
入学定員増数及び増員時期(修士)	15名(R8)

< 社会や地域のニーズ・課題 >

【情報系人材の不足に関するニーズ・課題】
・我が国におけるIT人材不足の深刻化
・地方における情報系人材不足の深刻化
・情報システムに関する知識の欠如、高度な専門知識を持つ人材不足
【人材育成に関するニーズ・課題】
・情報システムの設計・開発・運用を担う高度情報専門人材の育成が急務

< 研究科等の体制強化の概要・コンセプト・特徴など >

・デジタル分野、特にデータサイエンス、情報エンジニアリングの2分野を中核としたカリキュラム編成とし、PBL等の実践的かつインタラクティブな教育方法、各科目を集中的に学べるクォーター制を導入
・優秀な実務家教員を設置基準の要件を大幅に超える人数を配置し、実践的な教育を行う体制

< 教育内容・育成する人材像 >

【教育内容】
応用情報学に含まれる多様な専門的知識・スキルについて、体系的かつ実践的にに修得し、思考力、発想力、研究力、コミュニケーション能力、技術者倫理など、高度専門職として求められる素養を有する人材を育成する。
【養成する人材像】
・多面にわたる情報技術を専門職としての高いレベルで体系的に身に付け、社会及び企業の抱える諸問題を解決でき、デジタル・トランスフォーメーションやイノベーションを起こす能力を身に付けている人材。
・地域や社会及び企業等の抱える諸問題に対して、応用情報学の諸分野の方法論及び技術を用いて分析・考察し解決に導くことができ、それをデータや結果の視覚化も含めて他者に分かりやすく整理して伝えることができる人材。
・地域や社会及び企業等の抱える諸問題に主体的かつ積極的に取り組み、その実践に当たって社会等の多様性に適切な配慮ができ、リーダーシップや協調性を発揮して活動できる人材。
・学修した知識や技能等を生かして、進歩を続ける技術に対して常に自らの知識や技能を向上できる人材。
・技術者倫理・コンプライアンスを高いレベルで遵守して、常に自らの職責に応じた適切な行動ができる人材。

< 初中段階・他大学・高専・企業・自治体等との連携 >

・産、学、金、言、官が一体となった周南創生コンソーシアムを通じて、地域の人材不足と、デジタル化の推進による地域企業の活性化、就労希望者の就労機会の拡大。
・周南地域の市教委、小・中・高校の関係者との地域共創教育コンソーシアムを創設しており、情報科学研究科応用情報学専攻(専門職)も事業に参加。
・教育課程連携協議会を通じて、産業界及び地域社会との連携による教育課程を編成するとともに、大学院専門職学位課程を円滑かつ効果的に実施。

< 女子学生、社会人学生、留学生等の確保 >

・平日夜間及び土曜日に多くの授業科目を配した時間割構成とし、社会人学生が仕事を終えてからでの受講可能な授業時間を設定。
・山口県や中四国九州地方の高専生、大学生を対象とした理系進路選択へのアピール強化。
・動画、シミュレーション、eラーニングなど、多様なメディアを活用し、視覚的に分かりやすく、かつインタラクティブな学習環境の提供。
・国際交流協定校との緊密な研究者交流に基づいた積極的な留学生の受け入れを促進。

< 高度情報専門人材を輩出するための地域人材循環構造 >

